

福祉・介護職員等処遇改善加算における具体的な取り組み

合同会社稲穂(訪問介護事業所 稲穂の里)では「福祉・介護職員等処遇改善加算」を取得し、スタッフの待遇を改善するために継続的な施策を行っております。
具体的な賃金以外の取り組みに関しては以下の通りです。

■入職促進に向けた取組

○法人や事業所の経営理念やケア方針・人材育成方針、その実現のための施策・仕組みなどの明確化

～具体的な取り組み～

方針や施策を定め、面接時に説明をしている

方針や施策を CORPORATE GUIDE BOOK に定め、職員へ配布している

○他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等、経験者・有資格者等にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築

～具体的な取り組み～

採用基準を明確にし、採用基準を満たす場合は主婦、中高年齢者、経験者・有資格者にこだわらない採用を実施している

○職業体験の受入れや地域行事への参加や主催等による職業魅力度向上の取組の実施

～具体的な取り組み～

事業説明会を定期的に開催し、希望する場合は職業体験の機会を設けている

町内会に加入し、地域行事へ参加をしている

■資質の向上やキャリアアップに向けた支援

○エルダー・メンター(仕事やメンタル面のサポート等をする担当者)制度等導入

～具体的な取り組み～

メンターを配置し、仕事やメンタル面のサポートを実施

○上位者・担当者等によるキャリア面談など、キャリアアップ・働き方等に関する定期的な相談の機会の確保

～具体的な取り組み～

ケアスタッフは隔月に1回、責任者は毎月1回、管理者は週に1回と、定期的な相談の機会の確保している

※上記以外にも必要時は適宜実施

■両立支援・得し多様な働き方の推進

○有給休暇を取やすい雰囲気・意識作りのため、具体的な取得目標(例えば、1週間以上の休暇を年に〇回取得、付与日数のうち〇%以上を取得)を定めた上で、取得状況を定期的に確認し、身近な上司等からの積極的な声かけを行っている

～具体的な取り組み～

有給を取得しやすい雰囲気作りの実施。

取得状況を共有し、身近な上司から積極的な声掛けをしている。

○有給休暇の取得促進のため、情報共有や複数担当制等により、業務の属人化の解消、業務配分の偏りの解消を行っている

～具体的な取り組み～

有給を取得しやすくする為、業務や訪問先の属人化の解消を行っている

ToDo リストの共有をし、業務の見える化を行い、業務配分の偏りの解消を行っている

○障害を有する者でも働きやすい職場環境の構築や勤務シフトの配慮

～具体的な取り組み～

障害にではなく長所に目を向け、どのような働き方であれば長所を活かし無理なく勤務ができるかを話し合い、勤務にあたっている

■腰痛を含む心身の健康管理

○業務や福利厚生制度、メンタルヘルス等の職員相談窓口の設置等相談体制の充実

～具体的な取り組み～

職員向けの相談窓口を設置している

○短時間勤務労働者等も受診可能な健康診断・ストレスチェックや、従業員のための休憩室の設置等健康管理対策の実施

～具体的な取り組み～

非常勤も含めた全社員に対して健康診断とストレスチェックを実施している

○福祉・介護職員の身体の負担軽減のための介護技術の修得支援やリフト等の活用、職員に対する腰痛対策の研修、管理者に対する雇用管理改善の研修等の実施

～具体的な取り組み～

利用者と職員にとって負担の無い介護技術の研修を適宜実施している

○事故・トラブルへの対応マニュアル等の作成等の体制の整備

～具体的な取り組み～

介護における事故・苦情だけでなく、職員や職場内での事故やトラブルを想定したマニュアルを整備している

生産性向上（業務改善及び働く環境改善）のための取組

■生産性向上のための業務改善の取組

○現場の課題の見える化（課題の抽出、課題の構造化、業務時間調査の実施等）を実施している

～具体的な取り組み～

課題の抽出を行い、効果的且つ実践できるものから取り入れ課題の解決に向けて取り組んでいる

○5S活動（業務管理の手法の1つ。整理・整頓・清掃・清潔・躰の頭文字をとったもの）等の実践による職場環境の整備を行っている

～具体的な取り組み～

5S活動の制度を導入し、毎日チェック表で守れているかを確認する整備を実施している

○業務手順書の作成や、記録・報告様式の工夫等による情報共有や作業負担の軽減を行っている

～具体的な取り組み～

手順書の作成方法、記録の方法、報告様式に社内ルールを設け、情報共有や作業の負担軽減をしている

○業務支援ソフト（記録、情報共有、請求業務転記が不要なもの）、情報端末（タブレット端末、スマートフォン端末等）の導入

～具体的な取り組み～

介護ソフト、情報端末の導入を実施

■やりがい・働きがいの醸成

○ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善

～具体的な取り組み～

月に1回個別面談シートを用いて職場の環境を更に良くする案を出し合う事を議題に入れている

○利用者本位の支援方針など障害福祉や法人の理念等を定期的に学ぶ機会の提供

～具体的な取り組み～

年に1回 COMPLIANCE GUIDE BOOK を用いて介護保険制度について学ぶ機会を設けている。
毎月の会議にて CORPORATE GUIDE BOOK を用いて、法人の理念を学ぶ機会を設けている。
年に1回、法人に設置している方針やマニュアルを全職員に周知している

○ケアの好事例や、利用者やその家族からの謝意等の情報を共有する機会の提供

～具体的な取り組み～

毎月の責任者ミーティングで、ケアの好事例や利用者等からの謝意等を共有した後、当該スタッフへ情報共有する機会を設けている